

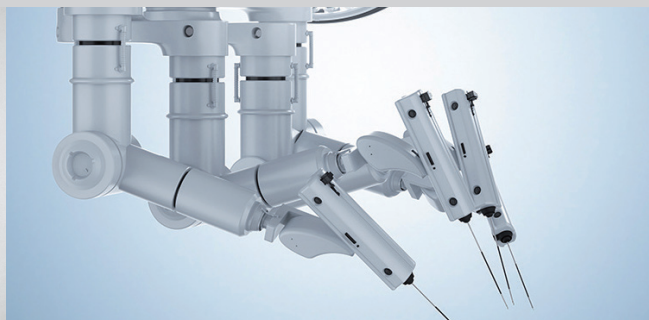
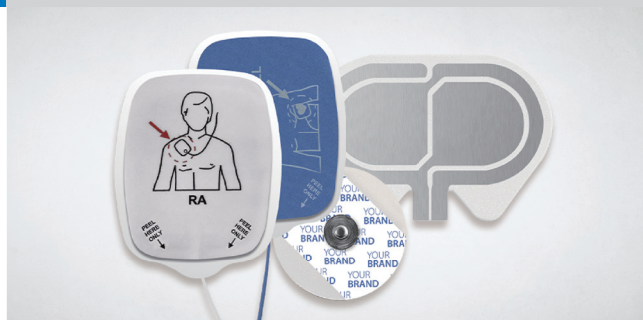
# NISSHA

## Nissha Today

第105期 中間報告書

2023年1月1日—2023年6月30日

EMPOWERING  
YOUR VISION



NISSHA株式会社

証券コード 7915

社長メッセージ	01
サステナビリティ	04
特集 メディカルテクノロジー事業	05
業績ハイライト	07
トピックス	08
会社概要/株式の状況	09
コミュニケーション	10

---

## 社長メッセージ

株主のみなさまには平素より格別のご支援、ご鞭撻を賜りお礼申し上げます。  
2023年12月期第2四半期(累計)の実績と今後の見通しについて、  
代表取締役社長 兼 最高経営責任者の鈴木順也よりご説明申し上げます。

---



株主のみなさまには平素より  
格別のご高配をたまわり  
厚くお礼申し上げます。

鈴木順也

代表取締役社長 兼 最高経営責任者

## 2023年12月期第2四半期の経営成績

当第2四半期連結累計期間におけるグローバル経済情勢については、世界的なインフレや金融引き締めなどの動きはあったものの、景気は持ち直しました。アメリカでは景気は緩やかに回復しましたが、ヨーロッパではインフレや内外需の低迷が重石となり景気が停滞しました。中国ではゼロコロナ政策の解除以降、経済が回復し、景気持ち直しの動きがみられました。わが国の経済については、電子部品の生産活動は低迷したものの、自動車の生産活動は底堅く推移し、緩やかな景気回復の動きとなりました。

このような状況の下、当社の業績については、メディカルテクノロジー事業の開発製造受託(CDMO)の製品需要が、活発な市場環境の下で堅調に推移しました。一方で、産業資材事業の家電向けや蒸着紙、デバイス事業のタブレットや産業用端末(物流関連)向けなどの製品需要は、巣ごもり需要の一巡やサプライチェーン在庫の調整などにより弱含んで推移しました。製品需要の動向に加え、インフレによるコスト増加や製品ミックスの悪化などが収益を圧迫しました。なお、メディカルテクノロジー事業ではインフレによるコスト増加に対して生

産性や効率性の改善に取り組み、収益性が向上しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は830億5百万円(前年同四半期比5.9%減)、利益面では営業利益は58百万(前年同四半期比99.1%減)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は8億1百万円(前年同四半期比89.9%減)となりました。

## 2023年12月期通期の見通し

通期の業績予想につきまして、売上高については、巣ごもり需要の一巡やサプライチェーン在庫の調整の影響により、産業資材事業の家電向けや蒸着紙、デバイス事業のスマートフォンやタブレット、産業用端末(物流関連)向けの製品需要が減少する見通しです。一方で、当社の重点市場である医療機器市場向けには、メディカルテクノロジー事業の開発製造受託(CDMO)の製品需要は、活発な市場環境の下で堅調に推移する見込みです。また、モビリティ市場向けには、産業資材事業の加飾製品の需要が、供給制約の緩和を背景に着実に増加する見込みです。営業利益については、製品需要の動向に加え、インフレによるコスト増加や製品ミックス

### 2023年12月期第2四半期(累計)業績のポイント

売上高	営業利益	親会社の所有者に帰属する 四半期利益	中間配当金
830億円	0.5億円	8億円	1株当たり25円

## 2023年12月通期業績予想(IFRS)

(百万円)

	2022年12月期 (実績)	2023年12月期 (2023年8月8日発表)	事業別売上高	
売上高	193,963	174,500	産業資材	70,500
営業利益	9,520	2,500	デバイス	60,500
税引前利益	12,373	3,100	メディカル テクノロジー	35,200
親会社の所有者に帰属する 当期利益	10,140	2,000	その他	8,300
基本的1株当たり 当期利益(円)	203.65	40.96		

の悪化などが収益を圧迫する見通しです。利益改善の努力としては、製品値上げを実行するとともに、工場の自動化やDXの推進などによる生産性・効率性の向上を目指します。これらの見通しから、売上高1,745億円、営業利益25億円、税引前利益31億円、親会社の所有者に帰属する当期利益20億円を見込んでいます。為替レートは1ドル=131円を前提としています。

## 配当について

株主還元としては業績、配当性向、財務面での健全性などを総合的に勘案した安定配当の継続を基本とします。なお、資本効率の改善を目的とした自己株式の取得を適宜検討します。2023年12月期の中間配当金は1株につき25円とさせていた

だきました。2023年12月期の期末配当金については、1株につき25円(年間配当金1株当たり50円)の予想としています。

## 最後に

当社グループのMissionは「人材能力とコア技術の多様性」を成長の原動力に、高い競争力を有した特徴ある製品・サービスの創出により、お客さま価値を実現し、「人々の豊かな生活」の実現に寄与することを掲げています。このMissionのもと、当社グループの中長期の成長と企業価値の向上を目指してまいります。

株主・投資家のみなさまにおかれましては、当社グループの今後の成長に向けて、格段のご支援・ご鞭撻をたまわりますよう、よろしくお願い申し上げます。

## サステナビリティ——人的資本の充実・強化に向けた取り組み

NISSHAグループは、事業環境の変化を成長機会と捉え、「多様な人材能力と情熱」の結集により、会社と社員がともに成長することを目指しています。

### エンゲージメントサーベイの実施

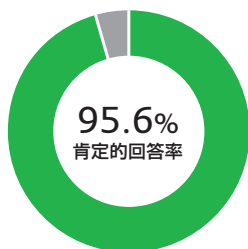
社員エンゲージメント向上の取り組みの一つとして、2022年度に海外を含むNISSHAグループの社員約3,000名を対象に、エンゲージメントサーベイを実施しました。

#### エンゲージメントサーベイの結果(国内・海外合計)

回答率 **83.0%**

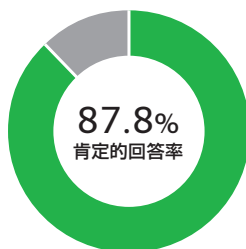
##### 組織貢献意欲

私はNISSHAに  
貢献したいと思う



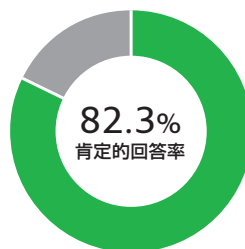
##### 組織コミットメント

私はNISSHAで  
働くことを誇りに思う



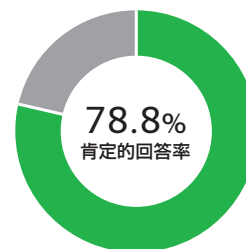
##### やりがい

私は自分の仕事に  
やりがいを感じている



##### 社会貢献実感

私は仕事を通じて、社会に  
貢献していると実感している



この結果を踏まえ、会社や事業、職場単位でその要因を分析し、社員エンゲージメントの向上につながる具体的なアクションを推進しています。今後も継続的に取り組み、改善につなげていくことで、すべての社員が情熱をもって働く風土を高めていきます。

### ESGに関する情報の開示

エンゲージメントサーベイの結果の分析や具体的なアクションなど、人的資本の充実・強化に向けた取り組みを含む当社グループの非財務情報の詳細については、2023年7月に発行した「NISSHAサステナビリティレポート2023」に掲載しています。



### 社外からの評価—MSCI ESG格付けで「AA」を獲得

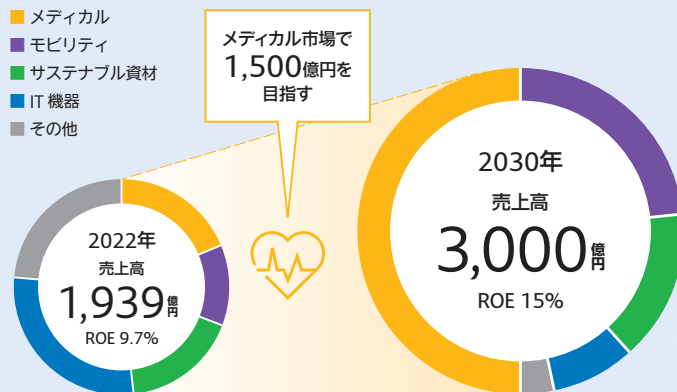
当社は、2023年5月に発行されたMSCI ESG格付けにおいて、これまでの「A」評価からワンランク格上げされ、「AA」評価(最上位から2番目)を初めて獲得しました。当社のESGの取り組み、特に人事基本方針に基づいた人事制度の運用が高く評価されたものと考えています。



## サステナビリティビジョン

売上高 **3,000** 億円 [うち1,500億円が  
メディカル分野] ROE **15%**

NISSHAグループでは2030年のあるべき姿をサステナビリティビジョン(長期ビジョン)として示しています。多様な技術や人材能力の結集・融合により、メディカル・モビリティ・環境に関わるグローバルな社会課題の解決に貢献し人々の豊かな生活を実現することを目指しています。



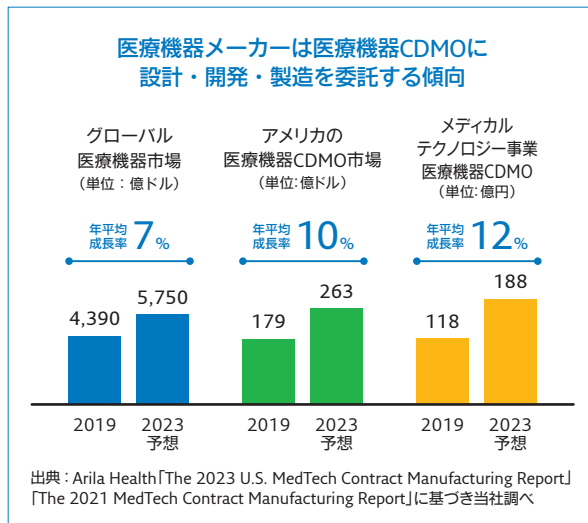
### 医療機器CDMO(開発製造受託)を展開

メディカルテクノロジー事業は、アメリカに本社を置く Nissha Medical Technologiesグループを中核に、医療機器やその関連市場において高品質で付加価値の高い製品をグローバルに提供しています。主力の医療機器CDMOは、大手医療機器メーカー向けに設計・開発から製造まで一貫して受託製造を行うビジネスモデルを展開しています。

### 医療機器CDMO市場は成長市場

医療機器CDMO市場は医療機器市場全体よりも高い成長率が期待されています。これはアメリカを中心とした大手医療機器メーカーが、マーケティングや研究開発に経営資源を集中させるトレンドを反映したものです。医療機器のものづくりに対しての投資が手薄にならざるを得ないことに加え、医療機器の電子部品化により、医療機器のものづくりが高度化しています。このため医療機器メーカーは、それぞれの分野

で専門性を持った企業にもものづくりを委託する傾向を強めています。当社はこの傾向を事業機会と捉えています。



※CDMO: Contract Design/Development and Manufacturing Organization 医療機器の設計・開発から製造までの一連の工程を手がける。



## 豊富な事業機会に対して 成長投資を加速

医療機器CDMOでの当社の主力製品である低侵襲医療用の手術機器や医療用のモニタリング機器は、大手医療機器メーカーからの委託が拡大しています。これらの既存領域の製品に加えて、手術ロボットやスマートデバイスといった医療機器のデジタル化に対する新たな事業機会が拡大しています。これらの豊富な事業機会に対して、2025年までにM&Aに200億円、設備投資に40億円の総額240億円規模の投資を実行していく予定です。サステナビリティビジョンの達成に向け、売上高と収益性の両側面で成長を牽引する事業を実現していきます。

### 既存領域

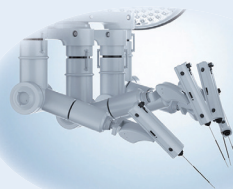
受注が拡大



低侵襲医療用の  
手術機器など

### 新領域

医療機器の  
イノベーションに対応



手術ロボットなど

### 積極的な投資 (2025年まで)

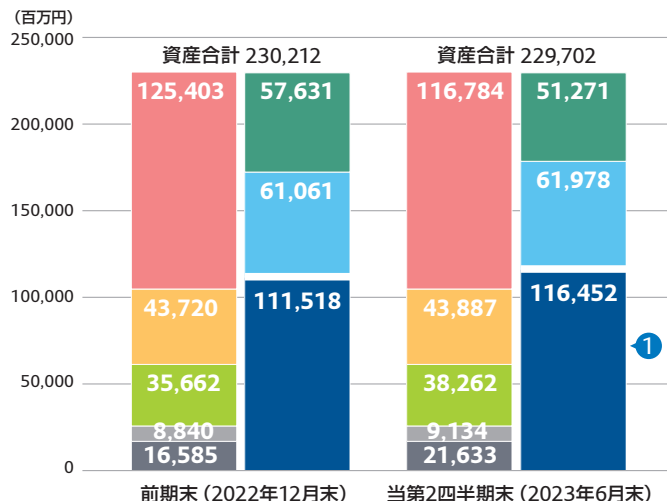
- M&A 200億円
- 設備投資 40億円

※写真はイメージです。

# 2023年12月期第2四半期(累計) 業績ハイライト(IFRS)

## 要約四半期連結財政状態計算書

■ 流動資産 ■ 有形固定資産 ■ 無形資産+のれん  
■ 使用権資産 ■ その他の金融資産他  
■ 流動負債 ■ 非流動負債 ■ 資本

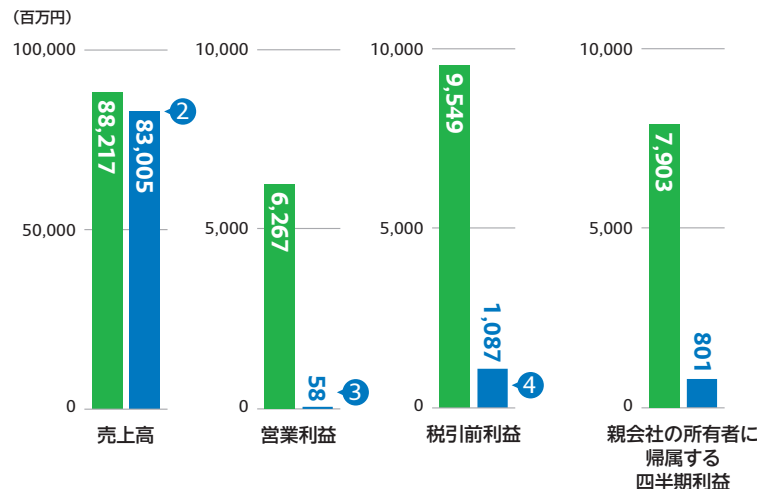


## POINT

- ① 資本は1,164億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ49億33百万円増加しました。この結果、自己資本比率は50.7%となりました。
- ② メディカルテクノロジー事業の開発製造受託(CDMO)は活発な市場環境の下で製品需要が堅調に推移しました。一方で、産業資材事業の家電向けや蒸着紙、デバイス事業のタブレットや産業用端末(物流関連)向けなどの製品需要は、巣ごもり需要の一巡やサプライチェーン在庫の調整などにより弱含んで推移しました。
- ③ 製品需要の動向に加え、インフレによるコスト増加や製品ミックス悪化などが収益を圧迫しました。なお、メディカルテクノロジー事業ではインフレによるコスト増加に対して生産性や効率性の改善に取り組み、収益性が向上しました。
- ④ 為替差益による金融収益を計上したこと等により税引前利益は10億87百万円となりました。

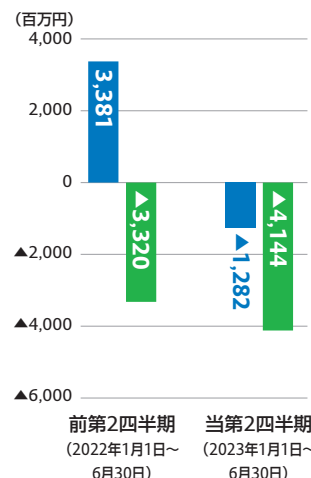
## 要約四半期連結損益計算書

■ 前第2四半期: 2022年1月1日~2022年6月30日  
■ 当第2四半期: 2023年1月1日~2023年6月30日



## 連結キャッシュ・フロー計算書

■ 営業CF ■ 投資CF





### 加飾分野の統合ブランド 「Nissha SurfaceWorks」を制定



2023年7月、産業資材事業における加飾分野の統合ブランドとして「Nissha SurfaceWorks(サーフェスワークス)」を制定しました。

当社が提供する加飾フィルム・成形品は、プラスチック製品の表面に木目調、金属調などのさまざまな意匠を付加するもので、自動車、家電などの市場で数々のグローバル企業に採用されてきました。現在、当社が提供する価値は、意匠に加えてタッチセンサーや光透過(光を利用した表示)といった機能にまで及んでいます。従来の工法、技術、発想にとらわれることなく、より柔軟に市場ニーズに応えるため、同事業が提供する価値をSurfaceWorksというブランドで捉え直しました。

今後は、本ブランドを通じてより多様な価値を提供することで、事業のさらなる成長につなげていきます。



自動車内装向けユーザーインターフェース  
(光を透過する木目意匠の成形品)

### 滋賀大学とDX推進に関する包括連携協定を締結

2023年5月に、国立大学法人滋賀大学(以下、滋賀大学)とデータサイエンス分野での産学連携およびDX人材の育成に関する包括連携協定を締結しました。滋賀大学は日本初のデータサイエンス学部を開設し、同分野の研究・人材育成をリードしています。今回の協定

を通じて、ビッグデータを用いた生産プロセスの自動化をはじめ、管理業務、設計業務など幅広い業務の生産性向上について滋賀大学との共同研究を継続的に行います。また、滋賀大学への社員派遣やインターン学生受け入れなど、滋賀大学との人材交流を進めることで当社のDX人材の育成を加速させます。



左: NISSHA 代表取締役社長 鈴木順也  
右: 滋賀大学 竹村彰通 学長

### 欧州の環境配慮型パッケージメーカー PaperFoamと資本業務提携を締結 製品ラインアップを強化

2023年4月、欧州のパッケージメーカー PaperFoam Holding B.V.(本社:オランダ)との間で資本業務提携を締結しました。

サステナビリティへの関心がグローバルに高まるなか、脱プラスチックや環境負荷低減に資する製品が注目を集めています。当社はこれを事業機会と捉え、環境にやさしい植物由来の材料を用いたサステナブル成形品を展開しています。

PaperFoamの製品はパルプを使用し、外部からの衝撃を和らげる優れた緩衝性が特長です。このため割れ物や精密機器などのパ



ッケージ用途に適しています。

今回の資本業務提携により、当社のサステナブル成形品の製品ラインアップを強化することで、さまざまな市場の多様なニーズに対応していきます。

## 会社概要

商号 NISSHA株式会社  
 創業 1929年10月6日  
 設立 1946年12月28日  
 資本金 121億1,979万円(2023年6月末現在)  
 社員数 単体729人、連結5,302人(2023年6月末現在)  
 拠点数(子会社含む) 国内16カ所  
 海外34カ所(持分法適用会社含まず)

## 役員の状況 (2023年6月末現在)

取締役		
代表取締役社長 兼 最高経営責任者		鈴木 順也
取締役		井ノ上 大輔
取締役		渡邊 亘
取締役		西本 裕
取締役		礪 尚
取締役(社外)		大杉 和人
取締役(社外)		アスリ・チオルパン
取締役(社外)		松木 和道
取締役(社外)		竹内 寿一
監査役		
常勤監査役		谷口 哲也
常勤監査役		今井 健司
監査役(社外)		桃尾 重明
監査役(社外)		中野 雄介

執行役員		
専務執行役員		井ノ上 大輔
常務執行役員 兼 最高戦略責任者		渡邊 亘
常務執行役員 兼 最高品質・生産責任者		西本 裕
常務執行役員		礪 尚
常務執行役員		サム・ヘレバ
上席執行役員 兼 最高財務責任者		神谷 均
上席執行役員 兼 最高技術責任者		面 了明
上席執行役員		杉原 淳
上席執行役員		ジョルジオ・ボッツ
上席執行役員		山口 秀則
上席執行役員 兼 最高情報責任者 兼 最高サプライチェーン責任者		青山 美民
上席執行役員		寺下 勝
執行役員 兼 最高人事責任者		青木 哲
執行役員		西川 和宏
執行役員		谷口 忠壮

## 株式の状況

(2023年6月末現在)

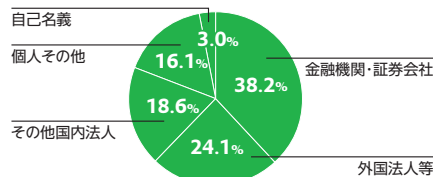
発行可能株式総数 180,000,000株  
 発行済株式の総数 50,855,638株  
 株主数 9,007人

### 大株主

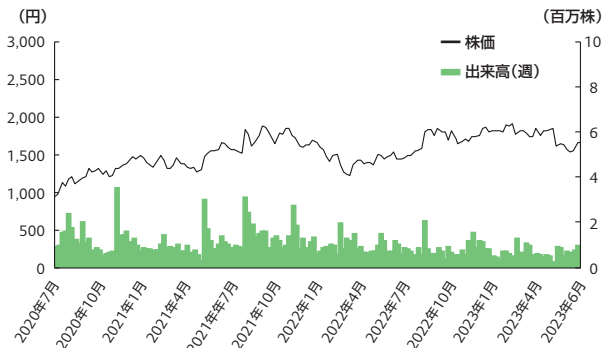
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,526	11.20
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	4,271	8.66
鈴木興産株式会社	2,563	5.19
タイヨー ファンドエルピー	2,202	4.46
明治安田生命保険相互会社	2,107	4.27
株式会社みずほ銀行	2,076	4.20
株式会社京都銀行	1,442	2.92
タイヨー ハネイ ファンドエルピー	1,265	2.56
ニッシャ共栄会	1,121	2.27
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505227	1,068	2.16

(注) 1 当社は、自己株式1,529千株を保有していますが、上記大株主からは除いています。  
 2 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式を控除して計算しています。

### 所有者別株式数比率(保有株式数比率)



### 株価(2020年7月~2023年6月)



## コミュニケーション

当社は、株主のみならずとの双方向のコミュニケーションを目指し、定期的にアンケートを実施しています。ここでは2023年3月の株主総会時のアンケートで多くの方々からいただいたご意見の一部と、当社の取り組みをご紹介します。

### ご意見

- メディカルテクノロジー事業の成長拡大を期待しています。
- 今後の事業の展望を詳しく知りたい。
- 経営情報を積極的に開示してほしい。

### NISSHA

当社グループは、サステナビリティビジョンに示すとおり、2030年に当社グループの売上高の50%をメディカル市場向けビジネスで構成することを目指しています。

今回のアンケートにおいて、特に関心がある当社の事業として「メディカルテクノロジー事業」とお答えいただいた株主さまが約43%と最も多く、同事業の成長への期待の高さがうかがえました。



メディカルテクノロジー事業説明会

当社は、事業への理解を深めていただくことを目的に、機関投資家・アナリストを対象として、事業の概要と中長期的な事業戦略を説明する事業説明会を毎年1回開催しています。

2023年5月には、メディカルテクノロジー事業説明会を開催しました。医療機器市場での当社の成長の軸となるビジネスモデルであるCDMO(開発製造受託)にフォーカスし、その成長性、当社のケイパビリティ、実績、今後の展望などについて説明しました。

事業説明会・決算説明会の動画やプレゼンテーション資料などは、当社ウェブサイトを通じて株主・投資家をはじめとするステークホルダーのみならず積極的に開示しています。また、2023年7月には、当社グループの持続的な企業価値向上に向けた取り組みをご紹介しますNissha Report 2023(統合報告書)を発行しました。Nissha Report 2023は、財務情報に加え、コーポレートガバナンスや環境・社会への取り組みなどの非財務情報について、わかりやすくお伝えしています。

いずれも当社ウェブサイトのIRページからご覧いただけますので、ぜひご覧ください。



Nissha Report 2023  
(統合報告書)

## 株主メモ

株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1-3-3 みずほ信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内1-3-3 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
各種お手続きの お取扱窓口	お取引の証券会社等/ 特別口座管理の場合は、特別口座管理機関のお取扱店
特別口座管理機関 お取扱店	みずほ信託銀行 フリーダイヤル 0120-288-324(土・日・祝を除く 9:00~17:00)
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行
単元株式数	100株
公告方法	電子公告( <a href="https://www.nissha.com/">https://www.nissha.com/</a> )ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います
上場証券取引所	東京

### ご注意

このNissha Todayに掲載されている情報のうち業績の目標、計画、見通し、戦略、そのほか過去の事実ではない情報については、現時点で入手可能な情報に基づいて当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含みます。実際の業績は、経済動向、市場需要、為替の変動などのさまざまな要因によって大きく変わる可能性がありますことをご承知おきください。このNissha Todayに掲載されている業績に関する記述は、特に注記がない限り全て連結ベースとなっています。

## IR情報に関するお問い合わせ

### NISSHA株式会社

コーポレートコミュニケーション部 IRグループ

〒604-8551 京都市中京区壬生花井町3  
tel.075-811-8111(大代表)

## NISSHAの事業

NISSHAは、3つの事業を展開しています。

### ■ 産業資材

さまざまな素材の表面に付加価値を与える独自技術を有する事業です。IMD、IML、IMEなどの工法で使用される加飾フィルムや、それらの工法で生産される加飾成形品を提供しています。グローバル市場でモビリティ、家電製品などに広く採用されています。また、金属光沢と印刷適性を兼ね備えた蒸着紙や、主に植物由来の材料を用いたサステナブル成形品など、環境にやさしい製品を提供しています。

### ■ デバイス

精密で機能を追求した部品・モジュール製品を提供する事業です。主力製品であるフィルムタッチセンサーはグローバル市場でタブレット、スマートフォン、携帯ゲーム機、産業用端末(物流関連)、モビリティなどに幅広く採用されています。このほか、気体の状態を検知するガスセンサーや圧力を検知するフォースセンサーなどを提供しています。

### ■ メディカルテクノロジー

医療機器やその関連市場において高品質で付加価値の高い製品を提供し、人々の健康で豊かな生活に貢献することを目指す事業です。心疾患向けを中心に幅広い分野で使われる低侵襲医療用の手術機器や医療用ウェアラブルセンサーなどの製品を手がけており、現在は欧米中心に大手医療機器メーカー向けの開発製造受託(CDMO)を展開するとともに、医療機関向けに自社ブランド製品を製造・販売しています。

その他、情報コミュニケーションや医薬品・化粧品などの事業を展開しています。

